

---

令和3年3月定例会  
令和3年度当初予算（案）  
**主要な施策項目**

---



奈良市  
Nara city

# 継続的な主な施策

## I.子どもにやさしいまち

- 仮称子どもセンター整備  
仮称子どもセンター建設・開設準備<sup>新</sup>、地域活性化対策等事業
- 民間園おむつ処分費補助 <sup>新</sup>
- 養育費確保支援 <sup>新</sup>
- 子どもの貧困対策計画策定
- 一条高等学校・中学校校舎建設 <sup>新</sup>
- 小中学校トイレ改修
- 適応指導教室青山教室（HOP青山）の運営 <sup>新</sup>

## II.暮らしやすさと魅力のあるまち

- 新斎苑整備事業  
新斎苑整備・地域活性化対策等事業
- 大和西大寺駅周辺整備  
北口駅前広場整備事業・土地区画整理事業（駅南側）
- 大和中央道（敷島工区）・六条奈良阪線整備事業
- 公園マネジメント基本計画策定 <sup>新</sup>
- 街路灯LED化（ハイウェイ灯）
- クリーンセンター建設計画  
循環型社会形成推進地域計画策定・アクセス道路予備設計
- 犬・猫殺処分ZERO

## III.災害に強いまち

- 指令センター女性用浴室整備
- 消防車両整備

## IV.行政のデジタル化・自治体DXの推進

- リモートワーク・Web会議の推進
- 議員ポータル等導入 <sup>新</sup>
- GIGAスクール構想の推進
- 図書貸出・返却・予約の自動化、電子図書館運営

<sup>新</sup>は新規事業

## 事業の概要と進捗状況

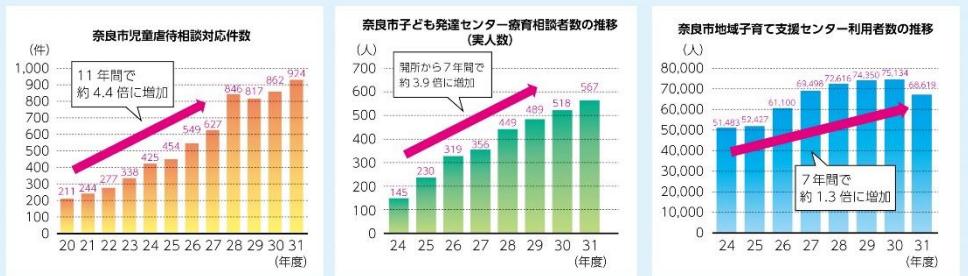
(担当課：子育て相談課)

### > 仮称子どもセンター建設（継続）14億 5,864万円

子どもとその保護者の遊びや交流の場となるキッズスペース及び地域子育て支援センター、就学前の子どもの発達に関する相談ができる子ども発達センター、市民に身近な相談窓口となる子ども家庭総合支援拠点、専門的な診断をもとに相談や援助を行う児童相談所・一時保護所からなる複合施設を整備することで、市内の子どもや子育て家庭への総合的な支援の展開を目指す。

令和3年度中の竣工を目指し、着実に工事を進める。

### ■ 奈良市の子どもに関する相談や施策利用者の推移



### > 地域活性化対策等事業 2,762万円

地元周辺自治会の方々に対し、仮称子どもセンターの概要や工事計画について説明を重ね、理解を得ながら事業を進めている。

センターの開設によって、周辺道路の交通量増加が見込まれることから、道路舗装や通学路の安全対策等の地元課題を解決する取り組みを順次進める。

### > 仮称子どもセンター開設準備（新規）2億 1,786万円

児童相談所等での業務経験が豊かな専門性の高い職員を雇用するとともに、仮称子どもセンターの運営に必要な遊具等を揃え、開設に向けた準備を進める。

#### ■ 内訳

会計年度任用職員経費 : 7,587万円  
キッズスペース遊具等設置 : 5,711万円 等



## 主要な施策

### ➤民間園おむつ処分費補助（新規） 190万円

(担当課：保育所・幼稚園課)

市内の多くの民間保育所等では、保育中に使用した紙おむつは保護者による持ち帰りが行われている。しかし、衛生的でなく、荷物が増える点で保護者の負担になっている。

令和2年度から公立保育所等で使用済紙おむつの処分が開始されたことに伴い、民間保育所等における使用済紙おむつの処分の導入促進（実施済み園では継続）を図るため、使用済紙おむつ処分に要する費用の一部※を補助する。

※一般廃棄物処理手数料相当

#### ■対象

保育所（22園）  
幼保連携型認定こども園（13園）  
小規模保育事業所（7園）



### ➤養育費確保支援（新規） 682万円

(担当課：子ども育成課)

養育費に関する相談業務を委託し、より専門的な助言を行う無料相談につなげ、養育費確保のための手続きに伴い発生する自己負担金の一部を補助することで、養育費の取決め内容の債務名義化を促進し、養育費の不払い解消、継続した履行確保を支援する。

ひとり親家庭の生活の安定と児童福祉の増進を図る。

#### ■対象

- ・市内在住の児童を扶養するひとり親家庭の母または父
- ・市内在住の児童を扶養する離婚を考えている母または父

### ➤子どもの貧困対策計画策定 460万円

(担当課：子ども育成課)

子どもの生活実態を調査し、次期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市子どもの貧困対策計画）に反映させる。

子どもの将来が生まれ育った環境によって左右され、経済的困難な状況が世代を超えて連鎖する事がないよう、教育の機会の均等を図り、すべての子どもがその将来に夢や希望をもって成長していく社会を実現するため、子どもの貧困対策を推進する。

## 主要な施策

### > 一条高等学校・中学校校舎建設（新規）

7,500万円 + 債務負担行為設定

(担当課：一条高等学校)

奈良市立一条高等学校に、**仮称奈良市立一条高等学校附属中学校**を併設し、併設型の中高一貫教育校として運営する。



#### ■開校（予定）

令和4年4月

#### ■中学校の学校規模

1学年2学級（80名）

体験的・探究的な学び等中高一貫教育の特色ある教育活動の成果を奈良市立中学校と共有することで、中学校教育の活性化と多様な教育の推進を図る。

### > 小中学校トイレ改修（継続）1億 1,300万円

(担当課：教育施設課)

体育館のトイレは、避難所に指定されていることもあり、優先的に改修を行い概ね完了したが、継続して**校舎のトイレ改修**を進める。

学校施設全体の老朽化が進んでおり、多くの**トイレの洋式化及び乾式化が必要**な状況である。なお、奈良市の洋式化率は、全国・県内平均を下回っている。

#### ■トイレの洋式化率

奈良市 39.8%

全国平均 57.0%

奈良県平均 48.6%

（いずれもR2.9現在）



#### ■設計委託料

小学校：6,300万円 17校

（椿井・平城・帶解・富雄北小他）

中学校：5,000万円 8校

（伏見・京西・富雄南・登美ヶ丘北中他）



## 主要な施策

(担当課：教育支援・相談課)

**>適応指導教室青山教室（HOP青山）の運営（新規）1,800万円**

不登校の要因や相談内容は、子どもたちにかかる状況や、その背景など  
多様化・複合化しており、支援の選択肢も多様化させる必要がある。

そこで現在教育センターで実施している適応指導教室「HOP（ホップ）」  
に加えて、さらに不登校の子どもたち一人一人の状況に寄り添った学びに対する支援を行っていく適応指導教室青山教室（HOP青山）を新たに開設することで、社会的自立に向けた支援を行う選択肢を広げていく。

- ・スタッフの配置にかかる経費  
(支援員、カウンセラー、事務員) 1,560万円
- ・教室運営にかかる経費  
(初年度設置備品、光熱水費、消耗品等) 240万円



▲改修前の旧鼓阪北幼稚園

## 事業の概要と進捗状況

(担当課:新斎苑建設推進課)

### > 新斎苑整備工事の進捗状況

新斎苑整備事業は、平成30年度から事前調査の上、河川の切り替え等橋梁建設に向けた準備とともに、土木・建築の設計業務を進めてきた。

令和元年度には整備工事に着手し、投棄物撤去や場内の伐採、橋桁の製作や橋台・橋脚の建設工事に取り組んできた。

令和2年度は、橋梁が8月に完成し、その後、建設発生土を搬出するとともに建設地内の本格的な造成工事を進めた。令和3年1月には建築工事の起工式を行い、令和4年1月の完成を目指し工事を進める。

工事時期	事項
平成30年3月23日	3月議会議決により本契約締結
平成30年12月11日	現場事務所（土木） 事務所開き
平成31年2月～	橋梁工事に伴う河川切替工事
令和元年5月～10月	産廃処理工
令和元年10月～	敷地造成工事
令和元年11月～令和2年1月	伐採工
令和2年4月～	橋梁上部架設工
令和2年8月	橋梁完成 (「岩井川大橋」の一部完成に伴うお披露目会)
令和2年8月～令和3年1月	敷地造成に伴う建設発生土 搬出
令和2年12月	現場事務所（建築） 事務所開き
令和3年1月	起工式
令和4年1月	工事竣工（予定）



橋梁工事

◀新斎苑北側からの鳥瞰  
(完成イメージ)

▼新斎苑西側から (完成イメージ)



現場事務所（建築）



建設発生土搬出



橋梁お披露目式



起工式

## 工程表

工種	平成30年 4月 12月	平成31年・令和元年 1月	12月	令和2年 1月	12月	令和3年 1月	12月	令和4年 1月 3月
準備工	H30.4月		R1.6月末					
伐採工		H31.2月 中～下旬	R1.9月～ 11月下旬					
産廃処理工		R1.5月 中旬	R1.8月末					
仮設進入路工			R1.9月					
防災工事			(湧水処理等、必要に応じて実施)					
河川切替え工		H31.2月 中～下旬						
橋梁工事	H30. 11月	H31. 1月末	H31. 3月中旬		R2. 8月末			
敷地造成工事			R1.10月			R3.9月末		
道路工事・付帯工事				R2.9月	R3. 3月末	R3.5月	R4. 1月末	
建築工事				R3. 1月中旬			R4. 1月末	

令和2年度補正予算 設計変更点

➤ 令和3年3月補正額 6億8,000万円

■奈良市新斎苑等整備運営事業 変更一覧表

設計変更要因	変更内容	設計変更額
①橋梁の設計変更を起因とするもの	(1)本設橋梁工に係る設計図書の変更 (2)橋梁仮設工の変更	94,580,000 146,370,000
		<b>240,950,000</b>
②地元自治会等の要望に起因するもの	(1)市道東部第285号線(鉢伏街道)通行車両等の条件変更 (2)市道東部第285号線(鉢伏街道)沿いの家屋調査 (3)市道東部第285号線(鉢伏街道)からの景観整備 (4)投棄物処分量の変更 (5)工事着手の遅延	38,403,000 3,400,000 32,544,000 76,560,000 32,800,000
		<b>183,707,000</b>
③各種許認可関係、河川管理者、企業局等との協議、指導を起因とするもの	(1)地蔵院川流域調整池の追加 (2)受水槽の設置 (3)設計業務の追加	17,840,000 17,180,000 12,250,000
		<b>47,270,000</b>
④工事現場の自然的施工条件に起因するもの	(1)造成工事の岩掘削 (2)残土処分地の変更	71,690,000 △18,440,000
		<b>53,250,000</b>
⑤その他(今後想定される要因)	(1)建築工事による増額 (2)インフレスライド条項	37,000,000 56,000,000
		<b>93,000,000</b>
	計	<b>618,177,000</b>
	消費税(10%)	<b>61,817,700</b>
	合計	<b>679,994,700</b>
	予算額	<b>680,000,000</b>

## 令和3年度 主な施策

### > 新斎苑整備事業 2,474万円

令和4年1月の完成を目指して建築工事を進めるとともに、鹿野園配水池から新斎苑施設への上下水道を整備する。

また、令和4年春の供用開始に向けて施設名称の公募や火葬場条例の改正を行い、運用のマニュアル等を整備する。



新斎苑西側から（完成イメージ）

### > 地域活性化対策事業及び鹿野園町防災対策事業

1億607万円（うち防災対策 6,314万円）

これまで地元周辺自治会員等の方々に、工事工程等の説明を重ねて理解を深めてもらうとともに、自治会への地域活性化対策について協議を進めてきた。協議内容に基づき、引き続き対策を行う。

#### ■令和3年度予定の取組

**横井町関係：**共同倉庫の設計、丸尾池底樋改修設計・工事

**白毫寺町関係：**

集会所等整備調査、防犯カメラ・街路灯設置、水路整備工事

**鹿野園町関係：**

集会所建替に向けた調査、新斎苑建設西側山林利活用調査、防災対策事業

#### ■これまでの関係自治会との合意形成

現在、全ての関係自治会より事業の合意を得て、事業を進めている。

《協定書締結》平成30年11月 横井東町自治会

令和元年6月 白毫寺町連合自治会

令和2年5月 鹿野園町自治会

《合意書締結》令和2年5月 鹿野園活性推進自治会

#### ■令和2年度の取組

**横井町関係：**

集会所の建替工事（前年度から継続）、ため池周辺の道路整備、底樋改修に向けた調査、農道整備のための現況測量

**白毫寺町関係：**町内への防犯カメラ・街路灯の設置、水路整備工事

**鹿野園町関係：**地域活性対策事業に向けた協議を実施

## 事業の概要と進捗状況

(担当課：西大寺駅周辺整備事務所)

大和西大寺駅周辺において、奈良の玄関口としてふさわしいまちづくりを進めるため、北口や南口の駅前広場の整備を行い、利便性と快適性を兼ね備えた良好な市街地を形成する。

### ➤ 北口駅前広場整備事業（継続） 23億 350万円

西大寺一条線と直結させ、規模を拡大し駅前広場をさらに機能的なターミナルとする。現在、**用地取得**を進めている。



▲駅北側の現況

### ➤ 土地区画整理事業（駅南側）（継続） 1億 6,235万円

土地区画整理事業により、公共施設の整備や宅地の利用増進等、良好な市街地整備を図る。南口駅前広場も大型の観光バスが乗り入れ可能なターミナルとして供用を開始する。令和2年度末で公共施設の整備が完了するため、**換地処分や清算に向けた準備**を進める。



▲駅南側の現況

## 事業の概要と進捗状況

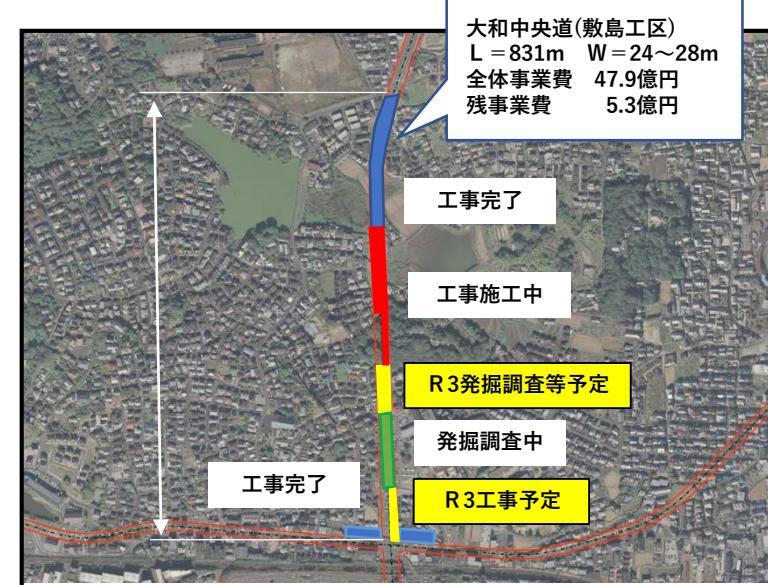
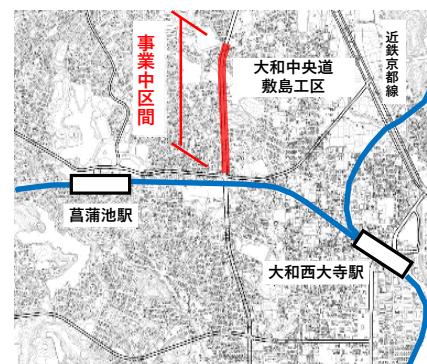
(担当課：道路建設課)

### ➤大和中央道（敷島工区）整備事業（継続）2億 3,000万円

都市計画道路大和中央道（敷島工区）は、北は秋篠町の旧奈良工業高校東側から、南は西大寺赤田町二丁目の県道谷田奈良線までの延長831m。令和2年度末の用地取得率は約97%であり、部分的に工事を実施している。

周辺道路は、歩道が未整備で車道も狭小であり、整備により歩行者・自転車等の安全確保を図る。

今後も引き続いて用地取得を進めるとともに、整備工事の進捗を図り、早期の供用開始を目指す。



### ➤六条奈良阪線整備事業（継続）2億 5,400万円

都市計画道路六条奈良阪線は、北の市道大森高畑線から南の県道京終停車場薬師寺線までの延長409m、幅員26mの道路で、JR桜井線との交差部をアンダーパス化する構造で令和3年度末の工事完了を目指している。

引き続き六条奈良阪線（東西）を延長766m、幅員18mの道路整備することで、将来的には、JR新駅や（仮称）奈良インターチェンジの交通結節点として、新たな奈良の南の玄関口となる地域と、国内外から年間1,700万人の観光客が訪れる奈良公園周辺ゾーンとをつなぐアクセス道路となる。



## 主要な施策

### > 公園マネジメント基本計画策定(新規)

**1,030万円**

(担当課：公園緑地課)

市内の公園を有効に利活用していくため、各公園や地域の実情に応じた利用方法、公園の適正配置を検討し、公園整備の方針や管理方法を示す計画を策定する。

### ■市内の公園の概要 (R2.4.1現在)

都市公園（運動公園・近隣公園・街区公園等）：578ha  
全体面積：約782ヘクタール

※奈良公園等の県管理の公園を含む



### >街路灯LED化（ハイウェイ灯）（継続）**8,500万円**

(担当課：道路維持課)

街路灯設備は、道路通行時や日常生活における安全と安心を確保する道路設備であり、老朽化対策及び省エネの観点から順次LED化を行っている。

防犯灯タイプの街路灯は平成24～29年度でLED化が完了し、残りのハイウェイ灯タイプの街路灯もLED化改修を行っており、令和3年度は685灯のLED化を予定している。

### ■LED化に伴う電気代削減効果額（試算）

令和2～4年度でハイウェイ灯のLED化完了予定。これにより  
**年間約2,600万円（1,870灯分）**の電気代の削減が見込まれる。  
令和3年度に予定するLED化では、**年間約770万円（685灯分）**の電気代削減効果が期待できる。



## 主要な施策

(担当課: クリーンセンター建設推進課)

### ■事業の進捗状況

クリーンセンター建設候補地については、令和元年度に人口重心や法的規制、アクセス性、周辺の住居状況等の視点で慎重に検討した結果、「七条地区」を候補地として選定した。

その後、令和2年度に、候補地の地元自治会役員及び住民の皆様との意見交換会を実施するとともに、地権者の方々にも進捗状況について情報提供を行った。

また、アクセス道路整備を検討のための基礎資料とするため候補地周辺の交通量調査を実施した。

ごみ処理広域化については、奈良県北部地域5市町（奈良市・大和郡山市・生駒市・平群町・斑鳩町）で検討してきたが、施設更新時期等の違いから、今後は奈良市、大和郡山市、斑鳩町の3市町で検討を進めていく。

また、クリーンセンター建設が周辺の環境にどのような影響を及ぼすのか調査・予測・評価を行い、その結果を公表し、環境保全の観点からより良い事業計画を作り上げていくための環境影響評価を行っている。現在、事業計画の検討の段階を対象とした「配慮書」を作成している。

### ➤循環型社会形成推進地域計画策定 550万円

クリーンセンター建設に際し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を総合的に推進するために設けられている環境省の「循環型社会形成推進交付金制度」による交付金を受ける事業を進めるために必要となる「循環型社会形成推進地域計画」を作成する。

### ➤アクセス道路予備設計 2,000万円

クリーンセンター建設候補地へのアクセス道路を整備するため予備設計を行う。

図：3市町（奈良市・大和郡山市・斑鳩町）人口重心地域



※国土地理院地図データ（URL:<https://www.gsi.go.jp/>）を加工して作成

## 主要な施策

(担当課: 保健衛生課)

令和元年度に達成した犬猫の殺処分ゼロを継続していくため、ふるさと納税の「犬猫殺処分ZEROプロジェクト」で頂いた寄附金を活用し、協力していただくボランティアの負担軽減、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の助成及び負傷した犬猫の医療の充実を図る。

### ➤ ボランティア支援事業（拡充）192万円

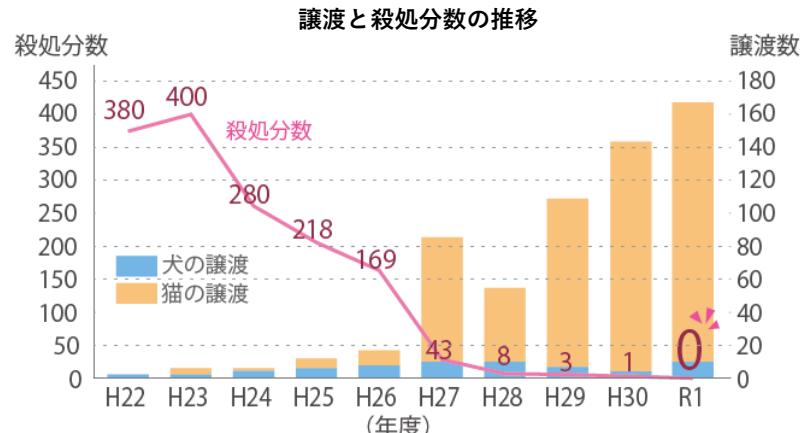
協力していただく譲渡ボランティアと預かりボランティアの経済的な負担軽減を図る。

また、飼い主のいない猫に不妊去勢手術を実施するTNR活動に対する理解を広げるとともに、TNR活動を支援するボランティアの負担が増していることから、負担軽減を図る。



#### ■内訳

譲渡ボランティア協力者謝礼（継続）	30万円
譲渡ボランティア協力者医療費補助金（新規）	15万円
預かりボランティア協力者謝礼（拡充）	54万円
預かりボランティア協力者医療費補助金（拡充）	45万円
TNR活動支援ボランティア協力者謝礼（新規）	13万円
	ほか



### ➤ 飼い主のいない猫の繁殖制限 手術事業（拡充）240万円

飼い主のいない猫の不妊手術に対して補助を行うことで、地域猫として一代限りの命を全うさせるTNR活動のさらなる普及を目指す。

費用	現行	90万円
	(1万円/頭)	90頭分
↓		
令和3年度	240万円	
	(1.2万円/頭)	200頭分

### ➤ 負傷動物医療事業（新規）85万円

重度の疾病や負傷の犬猫に対し、高度により良い治療が受けられるように動物病院を受診できる体制を充実させる。

## 主要な施策

市民の生命、身体及び財産を災害等から守るため、消防防災施設の整備、消防・救急・救助業務に係る体制整備や消防職員・消防団員の能力向上等、消防防災体制の充実強化を図る

### ➤指令センター女性用浴室整備 360万円

(担当課：消防総務課)

女性職員の職域拡大の推進のため、女性にとって魅力があり働きやすい職場環境を構築する必要がある。

そこで、防災センター庁舎3階において24時間体制で運用している**指令センターに女性用浴室を整備**する。

通信員への女性職員の配置により、119番通報の受信時における女性に関わるデリケートな内容の通報や相談においてより効果的となるなど多様な住民への対応力が向上する。

#### ■女性職員の割合 (R2.4.1現在)

3.4%

※382人の消防吏員に対し13人

総務省消防庁目標値：5%

(R8年度当初までに)

全国平均：3.0%



### ➤消防車両整備（災害対応特殊化学車）7,200万円

(担当課：消防課)

年々変化する火災態様に対応するため、建物火災等通常の火災に加え、**危険物火災の消火に特化した車両を購入**する。



### ➤消防車両整備（高規格救急自動車）2,700万円

(担当課：消防課)



様々な救急事象に対応するため、**高度救命処置用資機材を搭載した救急自動車を購入**する。救急車内での応急処置能力の向上と災害等による搬送を適切に行う。

### ➤消防車両整備（消防団普通積載車）750万円

消防団に配備している軽四輪積載車2台を、**小型動力ポンプ等放水資機材を積載した6名乗車が可能な普通車両に統合、更新**する。

地域防災力の要である消防団の機動力及び初動体制の強化を図る。



## 主な施策

**>リモートワーク・Web会議の推進（継続）1,342万円**

(担当課：情報政策課)

令和2年度、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、在宅等府外でも業務を行えるようにするため、リモートアクセスシステムを導入した。

また、収集型会議を回避し、外部機関との利用だけでなく、本庁と出先機関といった府内の会議でも利活用できるWeb会議・コミュニケーションツールの導入を行った。

令和3年度においては、これらの導入したシステムについて新型コロナウイルス感染拡大防止だけでなく、多様な働き方の実現を見据えて、引き続き活用を進めていく。

**> 議員ポータル等導入（新規）138万円**

(担当課：議会総務課)

会議・業務のICT化、ペーパーレス化の一層の推進に伴い、通信容量の増加が見込まれ、現在の通信環境では対応できないことなどに鑑み、議会棟のWi-Fi環境の強化を図るとともに、議員への情報提供ツールとして議員ポータルを導入し、議員への情報伝達の迅速化、効率化を図る。



## 主な施策

### ➤ GIGAスクール構想の推進（継続） 3億 1,038万円

（担当課：学校教育課）

<b>児童生徒 一人一台環境の 維持管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びの実現に必要となる一人一台端末22,967台の維持管理及びヘルプデスクの設置</li> </ul>
<b>インターネット接続環境 及び ネットワーク 維持管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一台環境に対応したインターネット接続環境の整備（全小中学生が同時に動画ができる環境）</li> <li>タブレット端末の家庭利用を支援</li> </ul>
<b>個別最適化に 対応した ソフトウェア・ コンテンツ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校4年から6年算数科向け「学びなら」デジタル版</li> <li>小学校5年から中学校3年までのAI型デジタルコンテンツ</li> <li>プログラミングによる課題解決を目的としたデジタルコンテンツ</li> </ul>

### ➤図書貸出・返却・予約の自動化、

### 電子図書館運営（継続） 2,803万円

（担当課：中央図書館）

令和2年度に誰もが気軽に生涯にわたって読書を楽しめる環境づくりの一環として、自動貸出機、自動返却機及び予約棚を整備し、カウンターで図書館職員を介して行われていた貸出、返却及び予約図書の受取を利用者自身が行う環境を構築した。これにより、カウンターでの待ち時間短縮等、図書館利用者の利便性向上に加え、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にもなっている。

また、インターネット経由で電子書籍を紙の図書と同じように、検索・貸出・閲覧・返却できる電子図書館を導入し、様々な生活様式に対応した読書機会を創出している。

今後も貸出等の自動化、電子図書館を継続し、図書館の利用環境向上の推進を図る。

#### ■中央図書館の整備状況



自動貸出機



自動返却機



予約棚